



ご入園、ご進級おめでとうございます。

柔らかな春の陽ざしに心和む季節、新年度になりました。今年度も、旬を感じさせる食事の提供と、食に興味がわくような年齢に合ったクッキング保育の企画をしていきたいと思えます。

食育目標は「寝る子 遊ぶ子 食べる子元気！」をスローガンにです。
どうぞよろしくお願ひします。



毎日、何気なくしているあいさつ。

食事の前の「いただきます」、食事が終わりの「ごちそうさま」の本当の意味を知っていますか？

～いただきますの意味～

1. 食事に携わってくれたすべての人への感謝



食事の材料の野菜を作ってくれた人



食事の材料の魚を海や川から捕ってくれた人



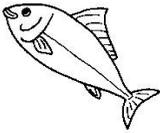
食事の材料の野菜や肉・魚を運んでくれた人



食事を作ってくれた人

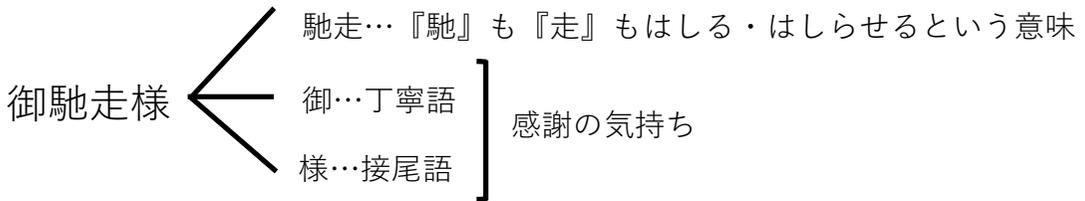
2.食材への感謝

生きるために何か食べなくてはなりません。その何かは魚や肉だったり野菜だったりです。魚や肉、野菜にも命はあります。だから『あなたの命を私の命にさせていただきます』という感謝の気持ちを込められます。



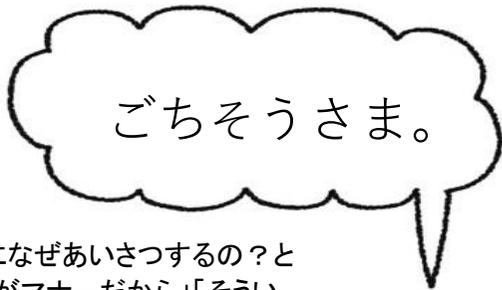
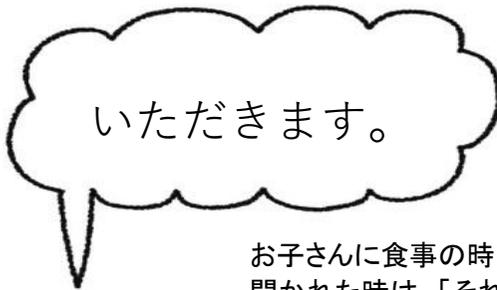
～ごちそうさまの意味～

ごちそうさまを漢字で書くと『御馳走様』と書きます。



食事を出すために奔走する様子を表しています。

たくさんの人が走り回って初めて料理として並びます。ですから、走るという意味の漢字を2つ重ねた上で、敬意を示して「御」や「様」をつけて「ごちそうさま」と言う言葉で感謝します。



お子さんに食事の時になぜあいさつするの？と聞かれた時は、「それがマナーだから」「そういう決まりだから」ではなく、このお魚やお肉、お野菜たちは、〇〇ちゃんや〇〇くんの体になるために、命をくれたの。だから、ありがとうで感謝の気持ちとして『いただきます』とあいさつし、作ってくれた人に「ありがとう、おいしかった」と伝えるために『ごちそうさま』とあいさつするのよと伝えてみてはいかがでしょうか。

